

## 令和6年度 公益財団法人 和歌山県栽培漁業協会事業計画

### 1 基本方針

本県地先海域における水産資源の維持増大を図るため、有用魚介類の種苗生産等を行い、放流等により栽培漁業を推進し、もって沿岸漁業の生産の向上に努める。

### 2 事業計画

#### (1) 種苗生産等事業

県の委託を受け放流等に供するため、次のとおり種苗生産等を行う。

種 類	計 画 数 量	技 術 開 発 計 画
ヒラメ	330千尾 (30mm) 13千尾 (80mm)	(種苗生産) 健全な親魚を養成し、良質卵の確保を図るとともに、生産コストの軽減を図りながら、活力のある種苗をより安定的に生産する技術の確立を目指す。  (中間育成) より安定的に生産する技術の確立を目指す。
イサキ	40千尾 (20mm) 25千尾 (70mm)	(種苗生産) 健全な親魚を養成し、良質卵の確保を図るとともに、生産コストの軽減を図りながら、活力のある種苗をより安定的に生産する技術の確立を目指す。  (中間育成) より安定的に生産する技術の確立を目指す。
クエ	37千尾 (40mm) 15千尾 (100mm)	(種苗生産) 形態異常の出現防止に努めるとともに、生産コストの軽減を図りながら、活力ある種苗をより安定的に生産する技術の確立を目指す。  (中間育成) より安定的に生産する技術の確立を目指す。
キジハタ	20千尾 (40mm) 10千尾 (80mm)	(種苗生産) 健全な親魚を養成し、良質卵の確保を図るとともに、生産コストの軽減を図りながら、活力のある種苗を安定的に生産する技術の確立を目指す。  (中間育成) 安定的に生産する技術の確立を目指す。
アワビ類	クロアワビ 62千個 (35mm) メガイアワビ 44千個 (35mm) トコブシ 93千個 (29mm)	(種苗生産・中間育成) クロアワビ、メガイアワビ、トコブシ 天然貝から健全な親貝を養成し、良質卵を安定して確保する技術の確立を図るとともに、活力のある種苗をより安定して生産する技術の確立を目指す。

※ センター別生産計画

単位:千尾・千個

		ヒラメ	イサキ	クエ	キジハタ	アワビ類
令和5年度	北部センター	—	70	—	—	104
	南部センター	351	—	51	—	91
令和6年度	北部センター	—	65	—	30	106
	南部センター	343	—	52	—	93

(2) 種苗放流による広域種の資源造成効果・負担の公平化検証事業

広域種の効率的・効果的な栽培漁業を推進するため、広域種資源造成型栽培漁業推進検討会に出席する。

(3) 放流効果調査事業

標識放流したクエ（平成23、24、30、令和元年～4年度に腹鰭抜去、平成27年度にダートタグ装着）について放流効果を検証していく。

また、水産試験場が行うキジハタの放流効果調査への協力として、種苗の提供と標識付け作業（腹鰭抜去）および放流を行う。

(4) 普及啓発事業

一般県民に栽培漁業への理解を深めてもらう一環として、小学生等を対象に体験放流や中学生の職場体験学習の受け入れを行う。